

【整文】 コエラボ テープ起こしサンプル原稿

Aー 事前にした書いたシートに関連していろいろお聞きしたいのですが、非常によく書いていました。

スズキ そうですよ。驚きました。そんなに書いた覚えはありません。

Aー 他の人には見せられませんが、少なくともこの3日間の中では、私の思っていたとおりの理想的な答えを一番よく書いています。

スズキ ありがとうございます。

Aー 助かりました。大体どれくらいの時間がかかりましたか。

スズキ 書き始めるまでは、どういったことを書こうか迷っていましたが、書き出してからは(#####@00:01:30)もかかりませんでした。

Aー 1時間程度ですか。

スズキ そうです。

Aー ありがとうございます。

書き終わった後に、こんなことに気付いたなど、何か感じられた感想などはありましたか。

スズキ 『有益な人』を書く欄ですが、有益な人という、このように育ててくれた、優しく励ましてくれたという、自分が良い思いをした思い出が浮かびます。中でも特殊な例で、厳しくたたかれるようなことが思い浮かびました。本来はマイナスのイメージのものが、そのおかげで逆に相手を認めさせようという気持ちになりました。

Aー そうです。お叱りいただきます。

スズキ そういうことが、自分にとっても有益だったと思います。やはり、自分も大学のときは部長やテニスコーチを経験していたため、褒めたり励ましたりだけでなく、厳しくたたいて伸ばしていくことの大切さも分かっていたつもりだったのですが、あらためて今回は分かりました。

Aー それを書いているということが特徴的で、なかなかそこに目を向けている人はいないので、面白いなと思いました。

【整文】 コエラボ テープ起こしサンプル原稿

スズキ 自分が部長というまとめる立場になったことがあるので、怒り方の難しさや、きちんと怒らなくてはいけないと分かっているのに怒れなかったことがあります。それが大事なことなのだなと思っています。

Aー 学生時代の経験から、そのような視点を持たれたということですね。  
学生時代はテニスをされていたのですか。

スズキ はい。前職がテニスのインストラクターで、社員としてやっていたので、子どもを叱らなくてはいけないときもありました。

Aー 怒り方のコツなども、ご自身の中にありますか。

スズキ やはり、やんわりとした甘いところを捨てて、がつんと言わないと聞かないので、褒めることを重視してやっていました。きちんとしてほしいという気持ちから、怒るというのは絶対にあることで、怒るときは甘えなく怒るようにしていました。ですが、終わった後にきちんと「良くなったね」や「頑張ったね」と言うようにはしていました。

Aー 分かりました。全般的な感想というのは、そんなところですか。

スズキ そうです。ぱっと思いついたことは、それくらいです。

Aー ありがとうございます。

スズキ ありがとうございました。